

2019年8月20日

課題名：画像診断支援 AI の活用による医師読影業務の変化に関する研究

◆研究の目的と概要◆

本研究は、医師が画像診断支援 AI ソフトウェアを読影補助として利用した際の、医師の読影に影響を与えた割合や心理的負荷の変化を調べることにより、わが国の医療現場における画像診断支援 AI の現場への導入可能性を検証し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる受診者さま◆

20歳以上（性別不問）で、2019年9月から、2020年3月までの間に、倉敷中央病院中央病院附属予防医療プラザにおいて以下の画像を撮影する方

・眼底 ・胸部 X 線 ・胸部 CT ・マンモグラフィ ・脳 MRI

◆研究に使用される情報◆

使用するデータは眼底カメラ、胸部 X 線、胸部 CT、マンモグラフィあるいは脳 MRI の画像です。

年齢、性別等の情報は収集しません。

◆研究方法◆

上記画像を、画像診断支援 AI ソフトウェアによって解析します。

解析されたデータは、医師の読影時の補助として利用されることがあります。

◆共同研究者◆

エムスリー株式会社

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構

倉敷中央病院附属予防医療プラザ 研究責任者 菊辻 徹

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明